

Chihiro Homuta Solo Exhibition Watermelon and Infrastructure
December 23 (Wed) – 27 (Sun), 2026　14:00–20:00　MEDIA SHOP | gallery1
VOXbldg1F, 44, Daikokucho, Higashiiru, Hitosuzime, Sanjousagaru, Kawaramachi, Nakagyo-ku, Kyoto, 604-8031 Japan.

誉田千尋 個展 西瓜と下部構造

2026年12月23日（水）- 27日（日）14:00 - 20:00

MEDIA SHOP | gallery1

通信、放送そして時報——
私たちの法と想像力を支える下部構造（インフラ・ストラクチャ）としての「中古の」技術群。
世界に触れる「最先端」としてリアリティを構築するマイクロホン。
声の効用と音の意味とを切り口に、技術とユーモアと「新しき悪しきもの」を接続する。

誉田千尋 ほむた ちひろ

1992年愛知県生まれ。情報科学芸術大学院大学［IAMAS］修士（メディア表現）。2023年以降、音と環境への「批判的な没入」をテーマに、音響再生産メディアによる作品制作と発表を開始。個展「神秘の防壁」（CulturalSpace生存 2025）、「１１７」（イメージフォーラム 2025）、グループ展「DX時代のメディア表現」（岐阜 2024）、イメージフォーラムフェスティバル（2023）、パフォーマンス「波音と夏の午後」（豊田市美 2023）ほか発表多数。www.homuta.xyz

---

アーティストトーク　ゲスト：黒嵜想

12月26日（土）15:00 - 16:00

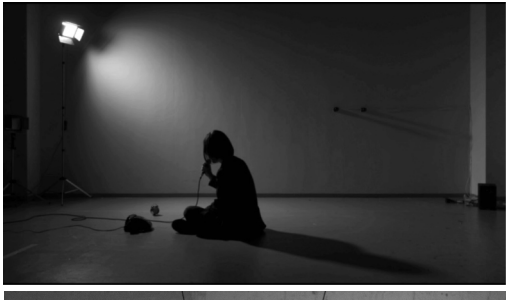
黒嵜想　くろさき そう

1988年生。批評家。極セカイ研究所所長。批評誌『アーギュメンツ』（2015~2018）での連載・編集をきっかけとして活動開始。音声と南極を中心的な関心とし、仏教音楽「声明」に関する連載「声をかく」（ウェブメディア「ちえうみ」）のほか、自身が編集する南極誌『P2P』ならびに「極論」（同誌掲載）などがある。また、以上の活動と並行して大垣書店発行の批評誌『羅（うすもの）』の編集を手がける。各ポッドキャストにて「ボイスメモ（3600±600）」を配信中。

MEDIA SHOP 京都市中京区河原町
三条下る一筋目東入る大黒町44 VOXビル 1F









上, 中《117》コンピュータ制御された音響とシングルチャンネルヴィデオ、電話機、時計、電球 / 時間可変ループ / 2021, 2024
下《ゆっくりラジオ》FM放送、音響機材、コンピュータ、照明、日本標準時(JST) / 2021, 2025
表《西瓜》バイノーラル音声とヴィデオ（未発表新作）